

◆ なくそう! 望まない受動喫煙 ◆

～マナーからルールへ～



タバコから出てくる煙や吐き出された煙を吸わされることを受動喫煙と言います。タバコの煙にはなんと約5,300種類もの化学物質が入っており、発がん性物質は約70種類にも及びます。吸っている人だけでなく、周囲の人にも健康への悪影響が及びます。

受動喫煙による影響が報告されている健康被害などの例

大人への影響

- ・肺がん ・脳卒中
- ・虚血性心疾患
- ・呼吸器機能低下(喘息等)
- ・慢性閉塞性肺疾患 など



妊婦、新生児への影響

- ・早産
- ・胎児発育不全
- ・新生児の低体重化
- ・乳幼児突然死症候群 など



子どもへの影響

- ・中耳炎
- ・呼吸器症状(咳・痰など)
- ・気管支喘息
- ・むし歯 など



これでは防げない「たばこの害」

加熱式、電子式 たばこは安全?

販売されて間もないため、現時点で健康影響の予測が困難ですが、加熱式たばこには有害物質が含まれています。電子式たばこの中にも発がん性物質等を発生するものがあると言われています。

換気扇の下で吸 えば大丈夫?

子どもの尿に含まれるニコチン成分を測定した研究では、家族が換気扇の下やベランダで吸っていた場合でも、非喫煙者の子どもに比べ、数倍高いことが示されています。

空気清浄機があ れば大丈夫?

たばこの煙の成分は一酸化炭素などほとんどが気体です。空気清浄機の機能には「ガス成分を除去することはできない」と記述されている製品も多いです。

禁煙席・喫煙席を仕 切るなどの空間分煙 は大丈夫?

同一空間のフロアで禁煙、喫煙席を分ける方法は受動喫煙を防ぐことはできません。室内から室外に流出しないよう壁・天井等によって区画されること、煙が屋外(外部)に排気されることが必要です。

健康増進法が2020年4月1日より改正され、受動喫煙対策を強化し、望まない受動喫煙の防止はマナーからルールへと変わりましたのでご理解とご協力をお願いいたします。

【 病院・学校など 】
敷地内禁煙

【 飲食店など 】
原則屋内禁煙
(喫煙専用室のみ喫煙可)

【 オフィス・事業所 】
原則屋内禁煙
(喫煙専用室のみ喫煙可)

※参考：国立がんセンター「喫煙と健康」、喫煙の健康影響に関する検討会編（厚労省）

日南市健康増進課